監督・競技者注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施するが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもとに進行する。

2. 競技者の招集について

① 招集所は以下のとおりとする
全種目とも招集所は、100m スタート側付近に設置する。
なお気候等の状況により招集所を変更する可能性があるので注意すること。

② 招集は競技日程に記載の招集開始時刻～招集完了時刻の間に確実に完了する。
※招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意すること。

③ 多種目を同時に兼ねて出場する選手で、招集時間内に点呼を受けることが困難な選手は代理人による点呼を認める。その際は競技場所でアスリートビブスおよび競技用靴の点検を受けること。
（ただし、競技開始時刻になっても競技場所へ現れない場合は欠場したものとみなす。）

④ 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内および競技エリア内へ持ち込まないこと。(TR6.3.2)。

3. アスリートビブス（ナンバーカード）について

① アスリートビブスは、男子は黒字、女子は赤字で明瞭に示し、全種目とも必ず胸部・背部につけること。

② 写真判定にともなう腰ナンバーカードについては、招集所にて配布を行う。右腰のやや後方に付け、フィニッシュ後にゴール担当競技役員に返却すること。リレーについては第４走者のみ右腰後方に付けること。

4. 競技について

【全種目共通】

① 組・レーン順、試技順はプログラム（アスリートランキング）に掲載のとおりとする。

② 競技に際してはオールウェザー用のスパイクを使用することができる。スパイクのピンは全種目９mmを超えないものとする。
ただし、競技場の使用規定により別に定めがある場合については、規定に則るものとする。

③ シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）の厚さについて、競技用靴に関する規程（靴底厚さ規程）は適用しない。

【トラック種目】

① スタートについてはスタンディングスタートまたはクラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用してもよい。

② 同じ競技者が２回不正スタートをした場合、その競技者は失格とする。
※１回目の不正スタートでは出発係が「黄/黒」のカードを、
２回目の不正スタートでは出発係は「赤/黒」のカードを示す。

③ 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速すること。

④ 80mH（小学 5・6 年生）は、男女ともに　ハードルの高さ 70cm、ハードル間７m、ハードルの台数９台、スタートから第１ハードルまで 13m　最終ハードルからフィニッシュまで 11mとする。
80mH（小学 4 年生）は、男女ともに　ハードルの高さ 60cm、ハードル間７m、ハードルの台数９台、スタートから第１ハードルまで 13m　最終ハードルからフィニッシュまで 11mとする。

⑤ リレー競技（混合 4×100mリレー）は男女各２名から編成され、走順は自由とする。
（TR24.11 については適用外とする。）
補欠についても男女各１名ずつとする。

⑥　リレー競技に出場する競技者のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、ユニフォームのタイプや男女による型の違い等は認めるものとする。
⑦　リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。

【フィールド種目】
①　走幅跳、ジャベリックボール投げについての試技数は、２回とする。
②　走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、２回続けて失敗した時点で終了とする。
③　走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
④　走高跳のバーの上げ方は以下を原則とするが、参加者・天候等の状況により変更する可能性がある。

1m00 （練習）	1m00 （開始）	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降 3cm ずつ

⑤　ジャベリックボール投については、オーバーハンドスローで投げることとする。
※羽だけを持って投げることは禁止する。
⑥　ジャベリックボール投の助走距離は 15m以内とする

5. ウォーミングアップ・練習について
①　事故防止に留意するとともに、競技役員から指示があった場合は速やかに従うこと。
②　競技場内での練習は 8：30 までとする。
③　競技場内外を問わず、投てき練習は一切禁止する。

6. 記録・番組編成について
①　記録・番組編成の発表は場内アナウンスで行うほか、アスリートランキングに掲載する。
②　競技場内における結果・番組編成の掲示は行わない。
③　滋賀県小学生記録については、滋賀県登録選手が樹立した場合に対象とする。

7. 表彰について
①　表彰については、全種目とも学年別総合成績で１位となった選手に対して行う。
（滋賀県外の登録選手も対象とする。）
②　対象となる選手は、競技終了後に表彰場所（本部用テント付近）に集合すること。

8. 個人情報等の取り扱いについて
①　個人情報の取得と使用について
本大会主催者は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
②　映像・動画・画像の撮影と使用について
本大会主催者が認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会・プログラム・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。
③　競技者の保護者の同意について
2025 年 10 月 22 日に日本陸連が定めた「選手写真の撮影と取扱いに関する方針」に基づき、申込時に以下の方針に同意することを必須とする。
＜撮影した写真の取り扱いに関する方針＞
●性的目的等で悪用されないように写真を使用します。
✓競技者の顔や身体の一部が強調されている写真、個人が特定されるおそれのある写真（競技者の顔と賞状の名前が合わせて写っているなど）は使用しません。
✓必要に応じて、匿名化のための加工を行います。

9. その他

① 競技会開催中における怪我・事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
② テントの設置については、風等で飛ばされることのないように十分注意すること。
③ 貴重品・荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
④ 使用した場所は責任をもって清掃すること。各自、各チームが出したゴミ等は持ち帰ること。競技場の環境美化に協力すること。
⑤ 水分補給など体調管理に十分注意すること。

滋賀陸上競技協会小学生目標記録について

日本陸上競技連盟公認大会において、**滋賀県登録選手**が下に示す別表の記録を突破した際には、年度末に優秀記録賞を授与する。

性　別	学　年	100m	1000m	4×100mR	80mH	走幅跳	走高跳	ＪＢ投げ
男　子	４　年	１５″３	3′40″0	－	１５″０	３ｍ７０	－	３０ｍ
	５　年	１４″３	3′30″0	５４″０	１４″５	４ｍ００	１ｍ２５	３５ｍ
	６　年	１３″４	3′20″0		１４″０	４ｍ３０	１ｍ３５	４５ｍ
女　子	４　年	１５″４	3′50″0	－	１６″０	３ｍ４０	－	２５ｍ
	５　年	１５″１	3′40″0	５６″０	１５″５	３ｍ７０	１ｍ１５	３０ｍ
	６　年	１４″３	3′30″0		１５″０	４ｍ００	１ｍ２５	４０ｍ
混　合	５，６年	－	－	５５″０	－	－	－	－